

## 論文審査の結果の要旨及び担当者

|   |               |      |       |
|---|---------------|------|-------|
| 報告番号  | 博（医）甲第 1280 号 | 氏名   | 須賀原育子 |
| 論文審査担当者   |               | 主査教授 | 山下 俊一 |
|   |               | 副査教授 | 丹羽 正美 |
|   |               | 副査教授 | 高村 昇  |
| 論文審査の結果の要旨  |               |      |       |
| 1 研究目的の評価<br>本研究は、甲状腺癌におけるシクロオキシゲナーゼ 2 (COX-2) の発現とその役割を明らかにしようとしたもので、目的は十分に妥当である。  |               |      |       |
| 2 研究手法に関する評価<br>長崎大学病院で手術された各種甲状腺組織標本を用いた免疫組織学的検索と、培養甲状腺癌細胞株を用いた選択的 COX-2 阻害剤添加によるアポトーシス判定や細胞増殖関連蛋白の Western blot 解析などの研究手法も妥当である。  |               |      |       |
| 3 解析・考察の評価<br>上記手法で解析した結果、甲状腺癌組織では COX-2 の過剰発現が確認され、正常組織の皆無に近い発現とは明確に発現様式が異なり、COX-2 阻害剤による細胞増殖抑制とアポトーシス誘導の分子機構の解析から、COX-2 の過剰発現と甲状腺癌の細胞増殖関連性が示唆され、その考察も妥当である。<br><br>以上のように本論文は甲状腺癌における COX-2 過剰発現に関する分子基盤の解明に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。 |               |      |       |